

科目ナンバー	TCP-4-021-ky			科目名	教職実践演習(初等)		
教員名	平岡 さつき、佐藤 高司、岸 一弘、本多 正直、清水 弘己			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	教職実践演習では、これまで1年次より積み上げてきた教師としての資質のうち、4年次までに不足していると思われる知識・技能などを補充させるために、調査、ディスカッション、模擬授業などを通し、教師として必要な使命感や責任感、教育的愛情等、社会性や対人関係能力、児童生徒理解や学級経営などの課題を発見し、それらの課題に対して自ら克服する手段を計画・実施することによって、教師としての資質をより確かなものとします。						
到達目標	教職実践演習においては、教員として必要な資質・能力を総合的に自ら評価し、自己の課題を発見して、その課題を克服することをめざします。						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力			コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	自己を理解する力 ○			伝え合う力 ○		分析し、思考する力	
共生のための態度	自己を抑制する力			協働する力 ○		構想し、実行する力 ○	
グローバル・マインド	主体性 ○			関係を構築する力		実践的スキル ○	
教授法及び課題のフィードバック方法	教職に関する科目の専任教員、教科に関する科目の専任教員、教職経験者である非常勤講師、また、連携関係にある前橋市教育委員会及び同じく連携関係にある同市立筑井小学校をはじめとする同市立小学校並びに中学校、連携関係にある伊勢崎市教育委員会及び同市立小学校、中学校、本学園に併設される共愛学園中学校・高等学校の協力を得て実施します。 グループワーク、プレゼンテーション、指導案の作成および模擬授業を課します。担当教員はグループ内で助言し、全体発表後に総評のうえ指導します。						
アクティブラーニング	○			サービスラーニング		課題解決型学修 ○	
受講条件 前提科目	教職科目ですので、教員免許状を取得希望であることが原則です。						
アセスメントポリシー及び評価方法	大学での教員養成段階における「自己を理解する力」、「協働する力」、「実践的スキル」等に関わる力を確認します。 課題設定ができるか、グループワーク、発表する力、ディスカッション能力、授業構想力、自らの課題にいかに取り組んでいるか、また、そうした課題を習得できたかを総合的に評価します。						
教材	特に指定しません。必要な資料は、適宜配布します。						
参考図書	随時紹介します。						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	履修カルテをもとに自らの課題を発見する。						
授業外学修内容	これまでの教職に関する学びを省みて、自分に足りない力をこの授業の課題とするために振り返りをまとめる。					時間数	1
2週目							
授業学修内容	自らの課題についてのグループ討議(共通する課題を持つグループ)						
授業外学修内容	グループ討議によって、自らの課題を明確にし、課題克服に必要と思う学びについて考える。					時間数	2
3週目							
授業学修内容	教育に関する講演:講演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。						
授業外学修内容	教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。					時間数	2
4週目							
授業学修内容	グループ内での課題克服のための発表準備(I)						
授業外学修内容	グループ内発表のための研究を行う。					時間数	5
5週目							
授業学修内容	グループ内での課題克服のための発表準備(II)						

授業外学修内容	グループ内発表のための研究、準備を行う。	時間数	5
6週目			
授業学修内容	課題克服のための授業計画案の発表(グループ内発表)。グループごとに教員が担当する。		
授業外学修内容	グループ内発表のための研究、準備を行う。	時間数	3
7週目			
授業学修内容	課題克服のための授業計画案の発表(グループ内発表)。グループごとに教員が担当する。		
授業外学修内容	各発表と討議を踏まえ、自分の発表の内容をまとめなおす。	時間数	3
8週目			
授業学修内容	外部講師(現場教師)による講演 講演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。		
授業外学修内容	教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	模擬授業の指導案の作成(I)グループワーク		
授業外学修内容	グループ発表のための研究、準備を行なう。	時間数	5
10週目			
授業学修内容	模擬授業の指導案の作成(II)グループワーク		
授業外学修内容	グループ発表のための研究、準備を行う。	時間数	5
11週目			
授業学修内容	模擬授業の指導案の作成(III)グループワーク		
授業外学修内容	グループ発表のための研究、準備を行う。	時間数	5
12週目			
授業学修内容	模擬授業の実践発表(I)		
授業外学修内容	各発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。	時間数	2
13週目			
授業学修内容	模擬授業の実践発表(II)		
授業外学修内容	各発表に対し、課題克服に繋げるためのまとめを行う。	時間数	2
14週目			
授業学修内容	教育に関する講演:講演内容に関する小論文を書き、次回に提出する。		
授業外学修内容	教育に関する講演会を聴き、教育者を目指す立場から小論文を作成する。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	教師としての基本的な資質能力の確認とまとめ		
授業外学修内容	教育実践演習の課題克服の研究を通して自分に足りなかった力は身についてきたかを振り返る。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		46	
その他に必要な自習時間		44	

Number	TCP-4-021-ky	Subject	Teaching Practicum Seminar(Elementary Level)		
Name	平岡 さつき(Hiraoka Satsuki)、佐藤 高司(Sato Takashi)、岸 一弘(Kishi Kazuhiro)、本多 正直(Honda Masanao)、清水 弘	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2

		己 (Shimizu Hiromi)				
Course outline	0	In this "Teaching Practicum Seminar", out of the qualities as a teacher that students have acquired since entering university, in order to supplement those skills and knowledge which are thought to be lacking, we will use surveys, discussions, and mock lessons to discover issues such as a sense of mission and responsibility, educational love, sociability and proficiency at interpersonal relationships, understanding of the children and class management, which are necessary as teachers. By planning and implementing methods for conquering these issues by ourselves, we will further establish our qualities as teachers.				